



平成 29 年 5 月 22 日

各 位

会 社 名 アジア開発キャピタル株式会社
 代表者名 代表取締役社長 網屋 信介
 (コード：9318 東証第 2 部)
 問合せ先 企画管理部 天神 雄一郎
 (TEL. 03-5561-6040)

**特別利益・特別損失の計上および
 平成 29 年 3 月期連結・個別実績と前年同期実績との差異に関するお知らせ**

当社は、平成 29 年 3 月期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）におきまして、特別利益・特別損失を計上いたしますので、下記の通りお知らせいたします。

また、平成 29 年 3 月期の連結・個別実績につきまして、前年同期（平成 28 年 3 月期）実績との間に差異が生じたので、併せて下記の通りお知らせいたします。

記

1. 特別利益・特別損失の計上

当社連結子会社であった株式会社六合の株式譲渡を行ったことにより、連結で 58 百万円の関係会社株式売却損を特別損失として、また、個別で 216 百万円の関係会社株式売却益を特別利益として、それぞれ計上いたします。（譲渡の経緯につきましては、平成 29 年 2 月 17 日付適時開示資料「株式会社六合の株式譲渡（非子会社化）に関するお知らせ」をご参照下さい。なお、精査の結果、損益計上額が変動しております。）

ならびに、当社連結子会社であった株式会社エス・エー・コンサルティングの株式譲渡を行ったことにより、連結で 6 百万円の関係会社株式売却益を特別利益として、また、個別で 10 百万円の関係会社株式売却損を特別損失として、それぞれ計上いたします。（譲渡の経緯につきましては、平成 29 年 2 月 17 日付適時開示資料「株式会社エス・エー・コンサルティングの株式譲渡（非子会社化）に関するお知らせ」をご参照下さい。）

上記特別利益・特別損失につきましては、本日開示の「平成 29 年 3 月期決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映されております。

2. 平成 29 年 3 月期実績と前年同期実績との差異

(1) 連結

(単位：百万円)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1 株当たり 当期純利益 (円)
平成 28 年 3 月期実績 (A)	2,776	△538	△458	237	0.61
平成 29 年 3 月期実績 (B)	2,686	△84	△76	△173	△0.44
増減額 (B-A)	△90	453	381	△411	
増減率 (%)	△3.2	-	-	-	

(2) 個別

(単位：百万円)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
平成28年3月期実績 (A)	87	△677	△504	238	0.61
平成29年3月期実績 (B)	159	△219	△208	△5	△0.01
増減額 (B-A)	72	458	295	△243	
増減率 (%)	83.1	—	—	—	

3. 差異の主要な理由

(1) 連結

売上高につきましては、有価証券運用益の計上や、貸付金利息の増加等があったものの、子会社における不動産売上高の減少等により、減少しております。

営業損益につきましては、売上総利益の改善や、主に本社部門の経費削減に伴う販管費の減少等により、損失が減少しております。

経常損益につきましては、受取利息の減少等があったものの、為替差益の計上や、持分法投資損失の減少等により、損失が減少しております。

親会社株主に帰属する当期純損益につきましては、前年同期に投資有価証券売却益を計上したことの影響等により、損失に転じております。

(2) 個別

売上高につきましては、有価証券運用益の計上や、貸付金利息の増加等により、増加しております。

営業損益につきましては、売上総利益の改善や、経費削減に伴う販管費の減少等により、損失が減少しております。

経常損益につきましては、受取利息の減少等があったものの、為替差益の計上等により、損失が減少しております。

当期純損益につきましては、前年同期に投資有価証券売却益を計上したことの影響等により、損失に転じております。

以 上